

さらなる飛躍と繁栄に向け

市制施行40周年記念式典開催

市制施行四十周年記念式典が、十一月二十一日市民文化会館で各界から約六百人が出席して開催されました。大館市は、昭和二十六年四月一日に日本一小さい市として誕生してから今年で満四十年。この間、四度の大火をはじめ幾多の苦難を乗り越えて今日まで歩み続けてきました。この記念すべき四十周年を機に、更に大きな飛躍と繁栄に向かって発展しようとしています。



大館市制施行40周年記念式典



大館曲げわっぱ太鼓の演奏が式典を盛り上げました



講演中の延藤教授

式典では、物故市民に対する黙とうが行われた後、小畑市長が「市制四十周年を機に、更に融和と連帯の意識を高め、七万市民が一九となつて若者の定着したくなるゆとりと潤いのあるまちづくりを邁進していきます」と式辞を述べました。

続いて、各分野で功績のあつた平成三年度市政功労者の表彰が行われ、自治、教育、産業、保健衛生などの七部門、二十一人に小畑市長からそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。

その後、来賓を代表して、澤谷秋田県総務部参事が佐々木県知事からのお祝いのメッセージを述べました。

最後に、祝賀記念公演として大館曲げわっぱ太鼓による壮麗な演奏、鼓が舞うが行われ、式典に華を添えました。

式典終了後、引き続き同会場で、熊本大学工学部教授の延藤安弘氏による記念講演が、「こんなまちに住みたいナ」を演題に開催されました。

三二年表

市制40年の

あゆみ

昭和26年4月・大館町、釈迦内村が解体合併して市制施行
初代市長に佐藤敬治氏当選

7月・大水害発生(被害額約2億円)

27年4月・第三中学校開校

28年1月・栗盛記念図書館完成

2月・冬季国体スキー大会開催

4月・片町付近大火(焼失棟数137棟)

29年7月・市の記念日(4月1日)及び市章を制定

30年1月・市役所(現秋北ホテル地)を現在地に移転

3月・長木・上川沿・下川沿・真中・二井田の5村編入合併

・十二所町を編入合併

・御成町1丁目大火(焼失棟数508棟)

12月・国鉄大館駅舎完成

31年8月・東大館駅通りから出火、市制後最大の大火(焼失棟数

1,342棟)

33年3月・国際スキージャンプ大会開催

34年3月・城西小学校校舎完成

35年3月・上水道工事完工

8月・市営火葬場完成

36年10月・第16回国体テニス、バレー、バスケット種目開催

37年3月・交通安全都市を宣言

38年6月・市民体育館完成

40年9月・日鉱釈迦内鉱業所黒鉱開採操業開始

41年2月・公立大館病院解散、市立総合病院設立

7月・大館勤労青少年ホーム完成

10月・同和花岡松峰鉦山黒鉱開採操業開始

42年3月・養護老人ホーム完成

4月・市長選で石川芳男氏当選

10月・市の木が秋田杉に決定

12月・花矢町を編入合併



市制施行時の田町通り